

総合学習センターだより

No.90

平成 26 年 (2014) 11 月 15 日発行

発行・編集：総合学習センター

公民館報 NO.698

図書館だより NO.427

飯山市の歴史



鉄橋工事中の中央橋と仮木橋
(昭和 20 年代)

しもふなと 下舟渡

今年 12 月 14 日、新中央橋が竣工します。この橋は江戸時代には下舟渡とよばれ、飯山城下と木島平方面を結ぶ渡し舟でした。明治時代に舟橋が架けられ、この交通路を利用して、人々や物資の往来が盛んに行われました。不完全な舟橋は、洪水のたびに橋板をはずしたり、あるいは流失したりしたため、永久橋の必要性が求められました。昭和 26 年 8 月に着工し、昭和 31 年 4 月に中央橋が竣工しました。

飯山市公民館 ☎ 62-3342
市立飯山図書館 ☎ 62-1118
飯山市美術館 ☎ 62-1501
いいやま女性センター ☎ 62-0543
飯山市ふるさと館 ☎ 67-2030

飯山公民館 ☎ 62-3342
秋津公民館 ☎ 62-2330
木島公民館 ☎ 62-0555
瑞穂公民館 ☎ 65-2501
柳原公民館 ☎ 62-5562
富倉公民館 ☎ 67-2136
外様公民館 ☎ 62-1029
常盤公民館 ☎ 62-3200
太田公民館 ☎ 65-4579
岡山公民館 ☎ 69-2010

第 35 回 飯山市 青少年芸術祭

10 月 25 日(土) 26 日(日)に飯山市公民館にて展示の部が、11 月 3 日(日)飯山市民会館にて舞台発表の部が行われました。

展示では市内の小中学生が製作した絵画・版画・習字などの飯水児童生徒図工美術・習字作品選抜展作品が飾られ、来場者は力作を鑑賞していました。

また舞台発表の部では、市内の小中学校や、市内で活躍する団体の、合わせて 14 団体が、日頃の成果を発表しました。会場に詰めかけた多くの皆さんが、子どもたちの熱演に見入っていました。

～展示の部 力作が展示されました～



～舞台発表の部 出場した全団体が素晴らしい演技を披露してくれました～



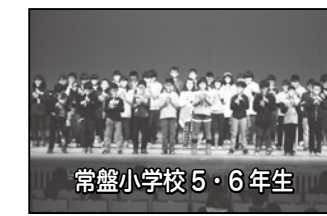
大勢の皆さんが訪れました



城北中学校



岡山小学校



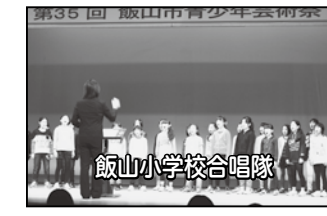
常盤小学校 5・6 年生



白鳥バレエ学園 飯山教室



戸狩小学校 音楽クラブ



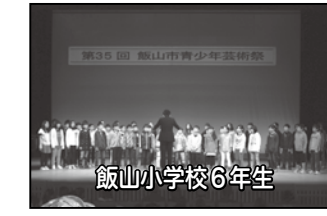
飯山小学校合唱隊



笹川太鼓



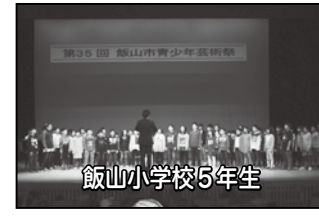
戸狩小学校 6 年生



飯山小学校 6 年生



Free Size



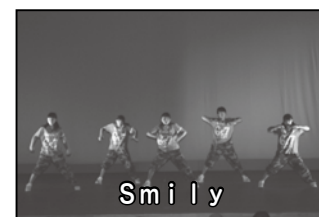
飯山小学校 5 年生



城南中学校



CHARMY



Smily

第 62 回 長野県公民館大会 飯山市にて開催

9 月 25 日(木) 26 日(金)の 2 日間、第 62 回長野県公民館大会が飯山市民会館、飯山市公民館で開催されました。飯山市での開催は、62 年の歴史の中で初めてです。県内の公民館関係者約 320 人が参加し、盛大に開催されたこの大会では、公民館の重要性が再確認されました。

坪井久さん 全国公民館 優良職員表彰受賞される

10 月 16 日(木) 17 日(金)の 2 日間、埼玉県熊谷市で開催された第 36 回全国公民館研究集会 in 埼玉、第 55 回関東甲信越静公民館研究大会において、前秋津公民館長の坪井久さん(大久保)が、優良職員表彰を受賞されました。長野県からは 5 年ぶり、飯山市からは初受賞となります。坪井さんは平成 14 年から 26 年までの 12 年間にわたり秋津地区公民館長を、また平成 19 年から飯山市公民館長会長を務められました。



公民館表彰を受賞して

公民館長を退任してほつとしていたところへ、思いもよらぬ全国表彰、それも優良職員表彰との連絡を頂き本当にびっくりいたしました。地域に少しでも役立てばとお引き受けし、気が付けば 12 年、長野県の表彰に引き続いての受賞で感慨無量です。

今回の受賞に関しては、私一人の力によるものではなく、皆さんの支えがあって頂けたものと考えております。私自身微力ながら、公民館が地域活性化に向けた、コミュニティ活動の中心となるべく、文化事業やスポーツイベント等に取り組んでまいりました。しかしそれらの活動も、公民館主事や専門部のスタッフの皆さん力によるところが大きく、それなしでは考えられません。また、公民館の行う行事等に参加頂いた地域の皆様の協力も忘れることができません。それに加えて、館長在任中に、ご指導いただいた先輩の館長さん、一緒に活動した仲間館長さん、特に飯山市公

前秋津公民館長 坪井 久

民館長さんを中心としたスタッフの皆さまには、筆舌に尽くせぬお世話かけました、本当に有難う御座いました。此処信越自然郷にも、待望の新幹線が来年の 3 月に参ります。これを機会に、体力がちよつと低下気味の飯山市に、活を入れるべく、開業時のイベント、他所から人の呼べる取組等計画されていること存じますが、私も、今までのご厚情に報いるべく、皆様の公民館活動に、可能な限りの協力していく所存でありまので、宜しくお願いいたします。

東北大震災、原発事故以来、取り巻く環境はますます厳しさを増しております。こういう時だからこそ、隣近所とのつながり「絆」を深め、明るい活力ある地域づくりが必要だと言われていると思います。それら活性化に向けた活動の中心となる、公民館のさらなる発展と、あわせて、関係者各位のますますのご活躍とご健勝を祈念いたします。

飯山市美術館

平成 27 年度企画展 齋藤一郎展
～ beyond the paper 山ぶところ

とりよう
土で塗料をつくります



飯山市美術館 ☎ 1501
*先月号での土情報と呼びかけに対し、情報をお寄せいただきありがとうございました。

ガジシ 長谷川青澄

平成 26 年度企画展 没後 10 年記念展

～わたしは、売るための絵は描かない



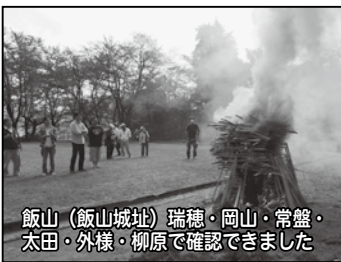
▲鑑賞中の高井宮司

9 月から始まった本展は、県内外から多くの方々にご来館いただき、11 月 9 日に終了いたしました。会期中、住吉神社の総本宮である大阪市住吉大社の宮司・高井道弘様が来館されました。長谷川青澄さんは生前、住吉大社の干支や絵馬の原画の揮毫を担当するほか、住吉大社に作品を納めており、亡くなるまで交流が続きました。今回、特別に絵馬の原画をお借りすることができ、当地での初公開となりました。没後 10 年記念展では、青澄さんの画業を振り返るとともに、その人柄に焦点をあて、制作秘話や生前使用していたスケッチブックを紹介したことにより、これまでよりも親しみやすく、作品が身近に感じられたところのご感想をいただきました。青澄さんの作品は、今後も常設展示で、ご覧いただけます。

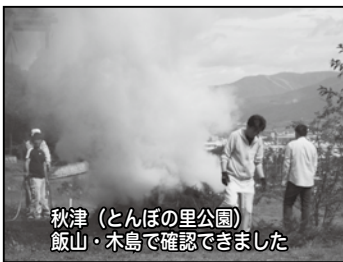
飯山城築城450年 各地区から「のろし」が確認される

10月4日(土)飯山城築城450年記念イベントで、各地区公民館が主体となりそれぞれの出城などで「のろし」を上げました。当日は天候にも恵まれ、各地区から上がったのろしが、はつきりと確認できました。

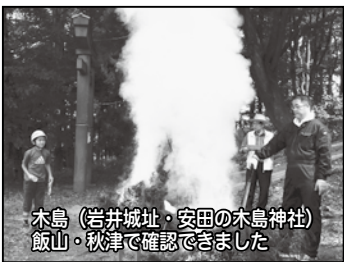
各地区ともそれぞれに工夫をし、楽しく各地区の歴史を学びながら、飯山城築城450年記念イベントに花を添えていただきました。



飯山（飯山城址）瑞穂・岡山・常盤・太田・外様・柳原で確認できました



秋津（とんぼの里公園）飯山・木島で確認できました



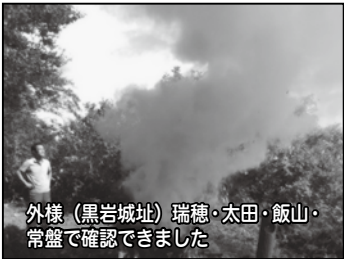
木島（岩井城址・安田の木島神社）飯山・秋津で確認できました



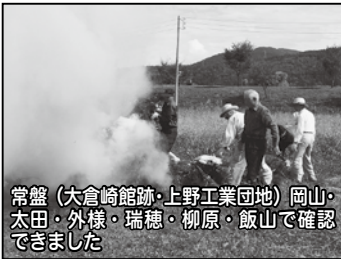
瑞穂（小宮神社里宮北側空き地）太田・常盤・外様・柳原で確認できました



柳原（山口城址）太田・常盤・瑞穂・飯山で確認できました



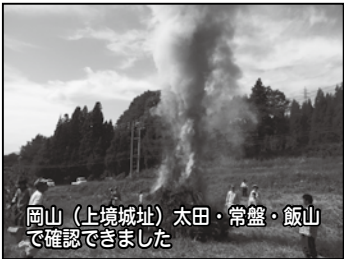
外様（黒岩城址）瑞穂・太田・飯山・常盤で確認できました



常盤（大倉崎館跡・上野工業団地）岡山・太田・外様・瑞穂・柳原・飯山で確認できました



太田（北条城址）柳原・岡山・外様・瑞穂・常盤・飯山で確認できました



岡山（上境城址）太田・常盤・飯山で確認できました

★マイオピニオン★

意見・私見

先人と郷土史に学び 活かそう 確かな未来は懐かしい風景の中にある

瑞穂神戸在住 金井 晃

退職して家に入り専業農家となって四年目となった。慣れない農業ではあるが、おふくろと一人三脚の米とアスパラ・キセラインゲンが我が家の主要な出荷農産物である。農業のかたわら若い頃から模索してきた根源的なものへの問いかけと読書は一層深くなり人生観も収斂されてきたように思う。仏教や神道から学んだ収穫も大きい。また、ささやかながら趣味や地域活動に参画させていただいてもいる。村のカラオケクラブ、獅子舞保存会やむらづくり委員会、農地・水・環境保全向上委員会等である。

飯山には、正受老人をはじめ石坂周造、沼田芸平、佐藤藤山、栗岩英治、阿部芳春、宮

「農夫のように働き哲学者のように考える」これは戦後長野県学習運動の思想的原点とも言うべき、耕し・学び・考えるの元になったルソーの言葉であるが、今の自身の座右の銘でもある。加えて『橋のない川』の著者である故住井すゑさんの「農がいはん文化の基本なんです。いちばんの文化人は百姓ですよ」という社会の本質を喝破した至言が励みとなっている。身土不二の思想で農地も人間も耕し続けなければ

ば直に荒野になってしまうのである。藻谷浩介さんとNHK広島取材班による『里山資本主義』に解決のヒントを探りたい。何よりも現代社会の不毛を察知し、それを掘り起こせる武器としての教養という鉄を持りたい。その二環が先人と郷土史の学習である。

私の場合は、栗岩英治先生の愛弟子であり郷土史家でもあった伯父喜久一郎の影響で青年時代から歴史に親しむ機会を多く持つことができた。伯父の村での講演記録「神戸の生い立ち」や「神戸村の神社・寺院」の冊子作りはその一例である。いまや各村誌や市誌をもつ私たちは、その気になれば幾らでも郷土史の学習が可能である。村に在る石仏や神社などの足元の歴史を知らなければ先人の生活や苦勞も分からず本当の地域づくりもできない。

村の誇りである神戸のイチョウの資料もほぼ収集し、まとまっている現状にある。何よりも後世に伝えていく努力を惜しんではいけない。



▲大イチョウに抱かれた絵本『まんげつのやくそく』原画展にて：佐藤なえさんと

飯山市ふるさと館 企画展

富倉風土記

各地区風土記シリーズの第二弾は富倉地区です。越後と信濃の峠に位置する富倉地区は、古くから物資をはじめ日本海文化の信濃への玄関口でした。

また、富倉道は、戦国時代上杉謙信の信濃への軍用道路でもありました。

「富倉そば」や「笹ずし」は、富倉だけではなく飯山の食文化を代表するブランドとなっています。

この企画展では、富倉の歴史や文化、人々の営みを展示し、富倉の魅力を探っていきます。

・期 日 11月26日(土) 平成27年1月18日(日) 入館料 大人200円 子ども100円

(市内小中学生は無料) 休館日 毎週月曜日 (月曜祝日の場合除く) 翌日・年末年始 12月29日～1月3日は休館となります



ふるさと館に菊の展示

町井一夫さん、丸山茂さん、鷲森則子さんからふるさと館の玄関に菊を展示していただきました。



ぜひご覧ください

「小菅の里及び小菅山の文化的景観」シンポジウム開催 (入場無料)

瑞穂地区小菅は、中世に修験道の場として繁栄し、その霊場は時代と共にそこに住む人々の生活や生業によって小菅独自の景観を形成してきました。飯山市ではこの小菅集落を中心とした一帯を貴重な景観として、国の文化財「重要文化的景観」の選定を受けるため、文化庁へ申出をしたところです。

このシンポジウムによって飯山市に残る素晴らしい文化的景観の価値や魅力を再確認し、そして、私たち市民はその魅力を市外に誇れるようになればと考えています。



期 日 12月14日(日) 午後2時～5時

場 所 飯山市公民館 講堂

基調講演

鈴木地平 (文化庁 文化財部 記念物課 文部科学技官)

パネルディスカッション

テーマ「小菅の文化的景観の魅力とこれからの地域づくり」(仮題)

コーディネーター

笹本正治 (信州大学副学長)

パネリスト

鈴木地平 (文化庁文化財部記念物課文部科学技官) 佐々木邦博 (信州大学農学部教授)

土本俊和 (信州大学工学部教授) 井田秀行 (信州大学教育学部准教授)

遠藤公洋 (県立歴史館専門主事) 足立正則 (飯山市長)

—主 催 飯山市、飯山市教育委員会 共 催 信州大学—

認知症シリーズ

認知症の人への関わりのなかで

寄り添う気持ちを大切に

飯山人権擁護委員協議会委員 江尻ふさ子

高齢者の人権を考えるうえで、認知症の人への理解と望ましい関わり方が、今最重要課題の一つになっています。

認知症は誰もが起こりうる脳の病気といわれ、85歳以上では、四人に一人がその症状にあり、今後増加の傾向にあるといわれています。

私も認知症の方がいる家族と話をする機会を得て、多くのことを学ばせていただきました。

ここでは、具体的に二つの事例をあげてみましょう。

認知症がすすみ、言葉の理解が難しくなってきたり、介助がないと、行動できなくなってきたり。一日の生活のなかで一番困るのが、朝の排泄

時間だとのこと。なかなかスムーズにトイレに行ってくれない毎日だったが、デイサービスを利用するうち、足のマッサージをしていただいていることを知り、起床時に布団の上で足のマッサージをしてから、最後に足の裏を「コチョコチョ」と言うと、思わず笑って機嫌よくトイレに行くきっかけになったとのこと。昔

ながらの歌を唱うお母さんのために、テレビの歌番組をふたりで楽しむようになりました。先日、風呂の中で「炭坑節」を口ずさむお母さんの姿に、思わず笑ってしまったとのこと。毎日の生活のなかで「笑う」場面が多くなり、気持ちのうえで少しゆとりが持てたように思うと話をしてくださいました。

この事例を通して、認知症の人に寄り添う気持ちを受容し、その人らしさを大切に日々の関わりを工夫されている姿に、私はただただ頭がさがる思いでした。

また、デイサービスを利用しながら、ゆとりの時間を模索されている点から地域のさまざまなサポートの必要性も感じられました。

人間は尊厳をもつて最後まで自分らしくありたいと誰しもが望むところですが、私も歳をとり認知症になったら、どう見守って欲しいか、どう支えて欲しいか、それらを心のなかで考え日々認知症の人への理解を深めて支えていく一人でありたいと思っています。



【地区館情報】

飯山

◇寺めぐりハイキング

10月19日(日)飯山市公民館との共催により、ふるさと館友の会(寺町部会)会員の小坂晶子さんを講師に迎え開催しました。



さわやかな秋晴れでした

さわやかな秋晴れに恵まれ、14名の参加者の皆さんと一緒に正受庵、明昌寺、常福寺、西念寺、飯山城、飯山藩牢屋跡、西来寺の約3時間半、各寺院の説明を聞きながら歩きました。途中、飯山市民会館で休憩、飯山名産?のバナナボードをお茶請けにお茶をいただきました。おいしかったですか??

富倉

◇秋の茶話会 武将行列・花フエスタの見学

10月5日(日)に富倉から18人が飯山城築城450年記念イベントへ出かけ、大勢の武者姿や子どもたちの行列、色とりどりの花を楽しみました。



武将行列の練り歩き

◇冬の茶話会

健康講演会

「ひざ痛、腰痛について」

講師 きし整形外科(長野市)

岸 正朗 院長

期 日 12月23日(火・祝) 10時30分

外様

◇第64回外様地区文化祭

10月25日(土)・26日(日)に外様公民館で開催しました。

25日の前夜祭では、10月12日に開催された飯山市駅伝大

特に今回は、10年近くおじゃましなかった明昌寺さんと、昨年おじゃまできなかった西来寺さんを訪問できて好評でした。

秋津

◇バルーンアート講座

10月11日(土)に秋津公民館で笠井先生をお迎えして、公民館・育成会・秋津小コミュニティスクールの共催で行いました。

笠井先生の和やかな「バルーン紙芝居」から始まりましたが、制作が始まると子どもから大人まで皆さん真剣な表情で取り組んでいました。



上手にできました

◇秋津地区文化祭

10月26日(日)に晴天の中、秋津公民館、秋津小体育館で行われました。体育館では恒例の「ふれあい音楽祭」も行われ、地元サークルの発表や小学生による歌の披露などがありました。また、今年は新藤清子さん(声楽

家)、田中梢さん(ピアニスト)をお招きしてリサイタルを開催しました。新藤さんの美声に観客の皆さんは聞き惚れていました。

公民館では地域の皆さんの「趣味の作品展」や特製天ぷらうどん、綿あめ、駄菓子などの出店もあり、たいへんにぎやかな文化祭となりました。

木島

◇第51回木島地区文化祭

10月25日(土)・26日(日)木島公民館において開催しました。

地区内の美術愛好家の方々の作品展示や坂井芋の種芋展示、木島こんにやくの会のすいとん汁サービス、おたのしみ抽選会のほか、今年は綿あめやたこ焼きの無料サービスを行い、例年になくにぎわいました。

◇第47回地区一周駅伝大会



優勝おめでとうございます

10月26日(日)18チームが地区一周11区間のコースを駆け抜けま

した。大会結果は次のとおりです。
優勝 其綿A
準優勝 野坂田ファイターズ
3位 やつたぜ上新田
皆さまの応援、ありがとうございました。

瑞穂

◇瑞穂地区文化祭・駅伝大会

10月26日(日)瑞穂地区活性化センターを会場に、毎年恒例の瑞穂地区文化祭および駅伝大会が盛大に開催されました。



盛大に開催されました

昨年は雨天のため中止となった駅伝大会、今年は秋晴れの下、火花を合図に全10チームがスタートし、瑞穂地区を走り抜けました。文化祭に目を移すと、多くの作品が展示された展示、特等景

ツを制作しました。在庫が10枚ありますので、希望者にお分けします。太田公民館までお問い合わせください。色はオレンジです。



鮮やかな色のTシャツです

◇太田地区文化祭

10月19日(日)に開催しました。はじめて実施したフリスビーを使つてのストラックアウト大会にも参加者があり、ゲートボール大会、作品展示と合わせて、大勢の方に会場いただきました。

岡山

◇頑張った駅伝岡山チーム

今年は、例年より手動が早く、その甲斐あって2チームの参加ができるほど選手が集まりました。

9月16日からの週2回の練習も休まず多くの皆さまに参加していただき、内容のある練習となり、走ることに目覚められた女性もいました。当日は各区分ごと精一杯走りきることができ充実感がありました。



真剣です!

品にみゆきポーク詰め合わせを据えた大抽選会、多くの協賛をいただき豪華賞品(松茸)で賑わったビンゴゲーム、完売御礼の食堂売店、開店待ちが起るチャリティーバザーなど、多くの団体の皆さまの協力のもと、今年も盛大に文化祭を行うことができました。

○瑞穂地区駅伝大会結果

優勝 関沢Aチーム
準優勝 柏尾Aチーム
第3位 富田これでやつとチーム

柳原

◇柳原地区文化祭

10月26日(日)秋晴れの中、柳原地区文化祭および地区駅伝大会が開催されました。

地区駅伝大会では南条Aチームが見事優勝しました。オープンチームの部では藤ノ木Bチームが優勝しました。

趣味の作品展には多くの素晴らしい作品が展示され、所作の披露では小佐原区の「天狗・獅子舞」が披露されました。また、子ども会育成会主催のトランプゲームも好評で、子どもたちが長い列をつくっていました。

地区駅伝大会の結果(9チーム参加、内オープン3チーム)

優勝 南条Aチーム
準優勝 大川チーム
3位 四ツ屋チーム

慰労会では、来年はCチームも出そうと言うほどの意気込みがあり、地域のまとまりができた駅伝大会でした。

◇秋の大運動会『天気でもよかったえ』

10月19日(日)晴天の中、岡山小グラウンドで開催されました。各種目とも楽しく和気あいあいと、その中でも競争心をもちながら望んでいました。最終種目の総合力レーで1位になった桑名川区が大逆転で優勝しました。朝は3℃と寒く凍えるくらいでした。突然もつと震える出来事がありました。『クマに会ったぜえ』と集落館長さんからの一報、急きょ山道を走るミニロードレースを中止しました。終了するころには心地良い秋風が吹き、ケガ人もなく無事に運動会を終えることができました。

優勝 桑名川区
準優勝 羽広山区
3位 西大滝区

